

2024年度 最終学年(卒業予定者)アンケート【医学部】集計結果

このアンケートは、最終学年の学生を対象に「意欲」「成長実感・満足度」を問うものです。

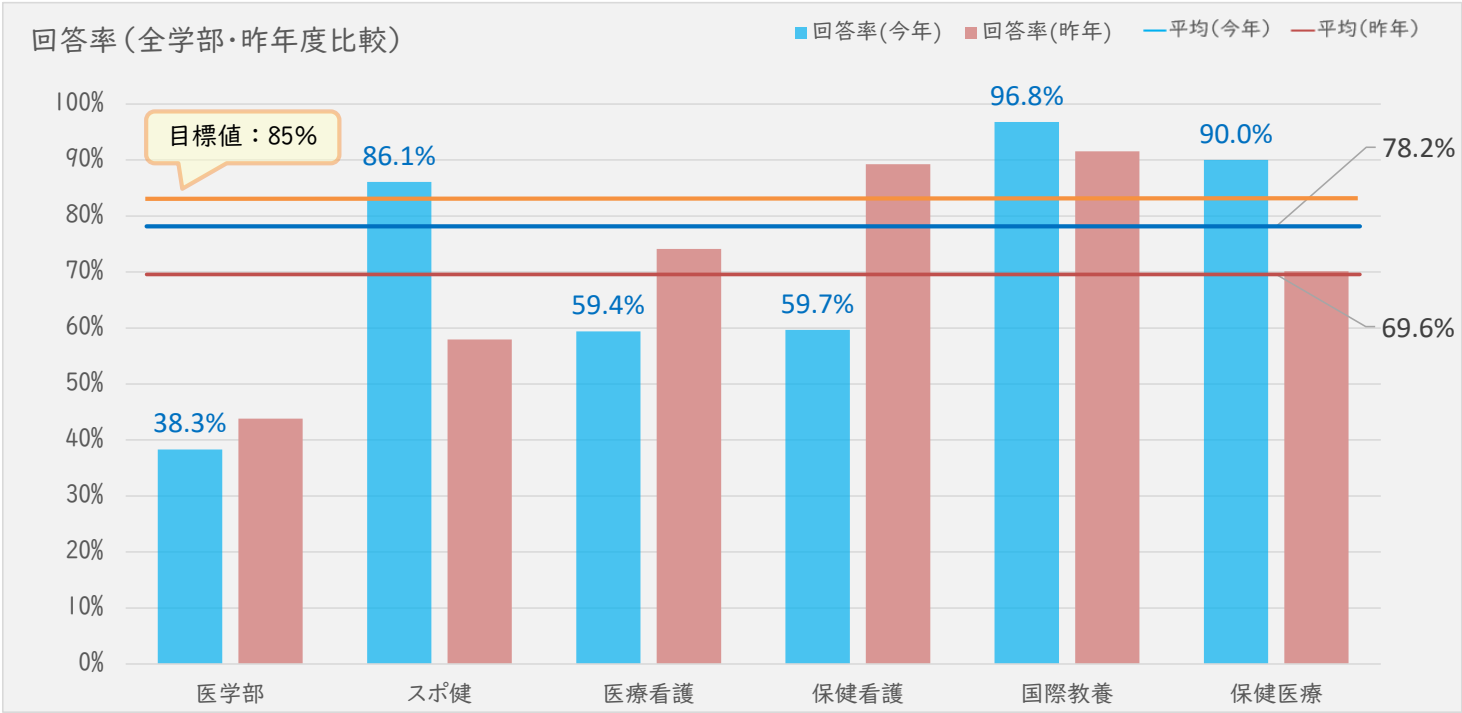
- 実施期間：2025年2月10日～2025年3月17日
- 対象学生：アンケート開始時点で在籍している最終学年の年生（※休停学、留学中の学生は除く）

■ 回答率

最終学年アンケート (卒業予定者)	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学部	38.30%	(-5.50%)	10.48%	54名	(-6名)	87名	141名	(+4名)	43.80%	60名	137名
スポーツ健康科学部	86.10%	(+28.17%)	1.62%	508名	(+267名)	82名	590名	(+174名)	57.93%	241名	416名
医療看護学部	59.39%	(-14.74%)	5.77%	117名	(-32名)	80名	197名	(-4名)	74.13%	149名	201名
保健看護学部	59.66%	(-29.59%)	7.39%	71名	(-37名)	48名	119名	(-2名)	89.26%	108名	121名
国際教養学部	96.80%	(+5.25%)	1.20%	212名	(+6名)	7名	219名	(-6名)	91.56%	206名	225名
保健医療学部	90.04%	(+19.91%)	2.14%	208名	(+53名)	23名	231名	(+10名)	70.14%	155名	221名
★全学部合計(平均)	78.16%	(+8.59%)	1.34%	1170名	(+251名)	327名	1497名	(+176名)	69.57%	919名	1321名

※ 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景



□ 設問内容・目次

1. 意欲に関する設問

1_01. 初期研修のマッチング先や、研修医としての仕事に対し、どのように思っていますか。（複数選択可）

2. 成長実感・満足度に関する設問

2_01. 大学生活を振り返って、満足していますか。【全学部共通】

2_02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。

2_03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。【全学部共通】

2_04. 以下は、医学部のディプロマ・ポリシーです。それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

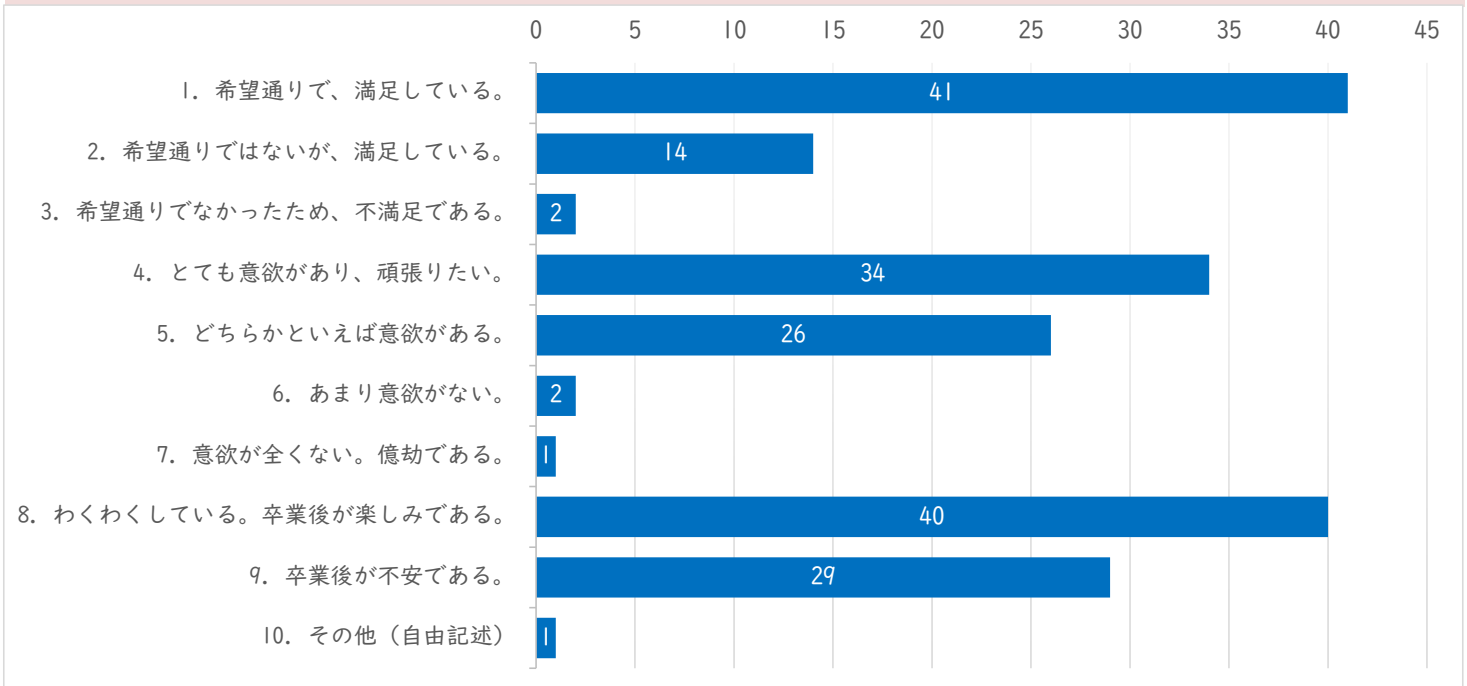
■ アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

【1. 意欲に関する設問】

Q1-01. 初期研修のマッチング先や、研修医としての仕事に対し、どのように思っていますか。(複数選択可)

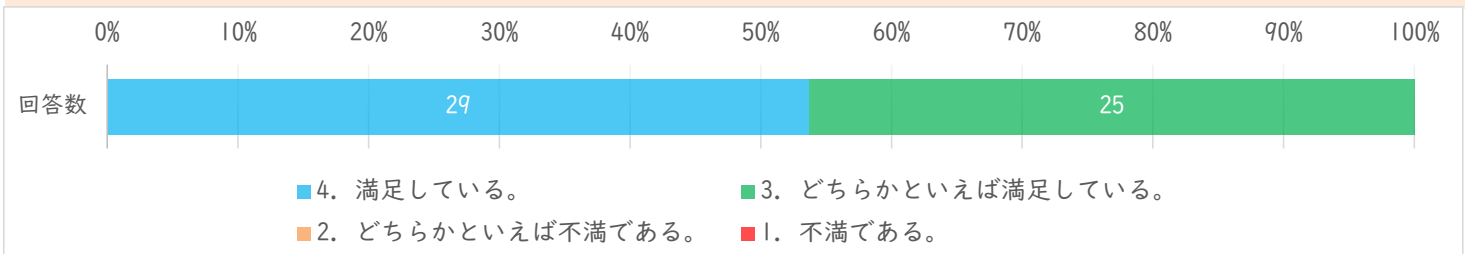
※学部別



【2. 成長実感・満足度に関する設問】

Q2-01. 大学生活を振り返って、満足していますか。また、差し支えなければその理由を、入力欄へ記入してください。

※共通



【その他(自由記述回答)・抜粋】

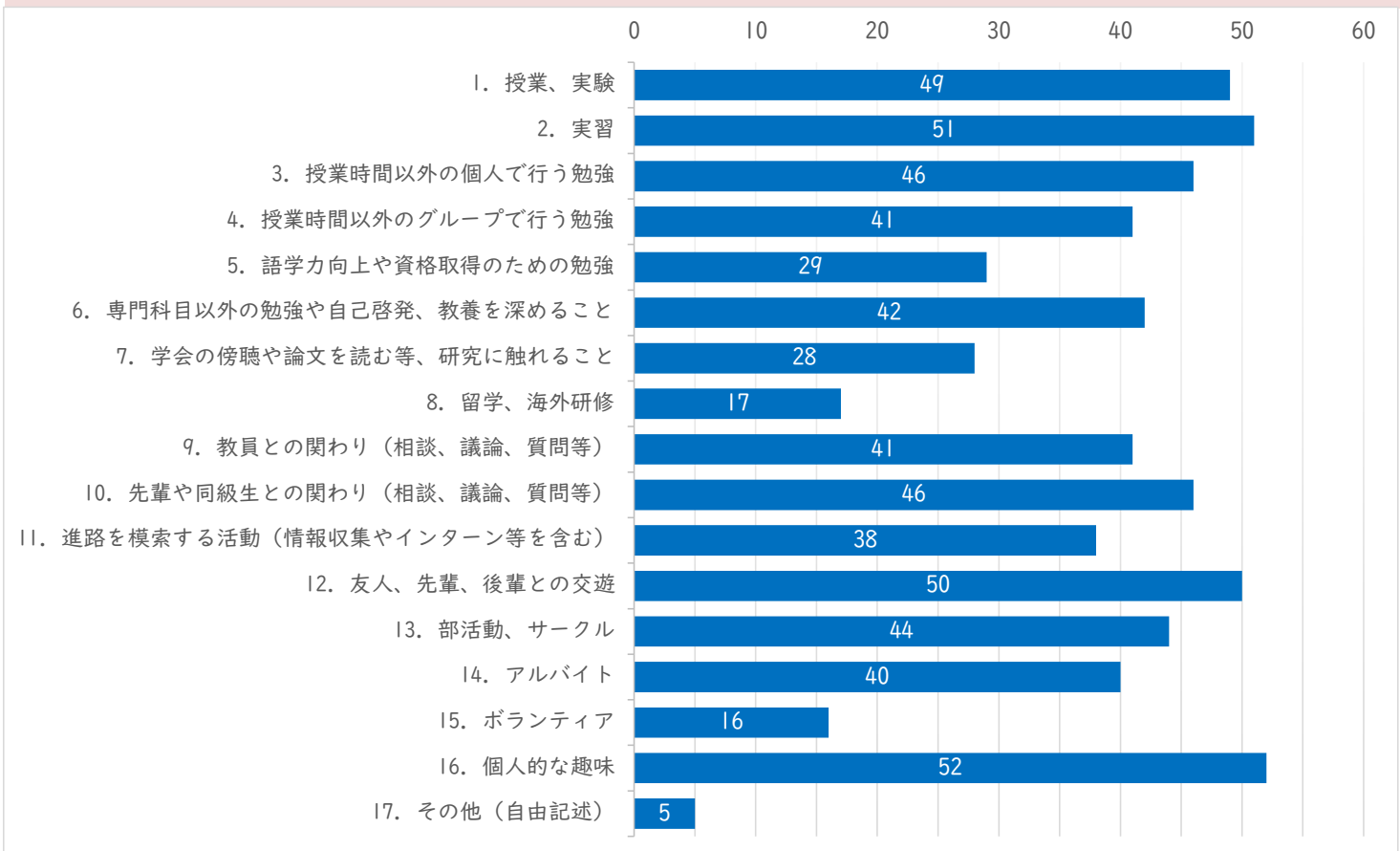
- ・勉強と部活を両立して充実した学生生活を送れたから
- ・学業、部活動、学外活動ともに充実したものとなった
- ・コロナで完全オンラインとなった時期もあったけれど、途中から復帰して実習は対面で出来て非常に有意義であったため
- ・楽しかった
- ・勉学以外の面(部活動他)において大変充実した上、少々不安の残る勉学面に関しても最終的に自分で納得のいくレベルまで到達することができたから

【2. 成長実感・満足度に関する設問】

(続き)

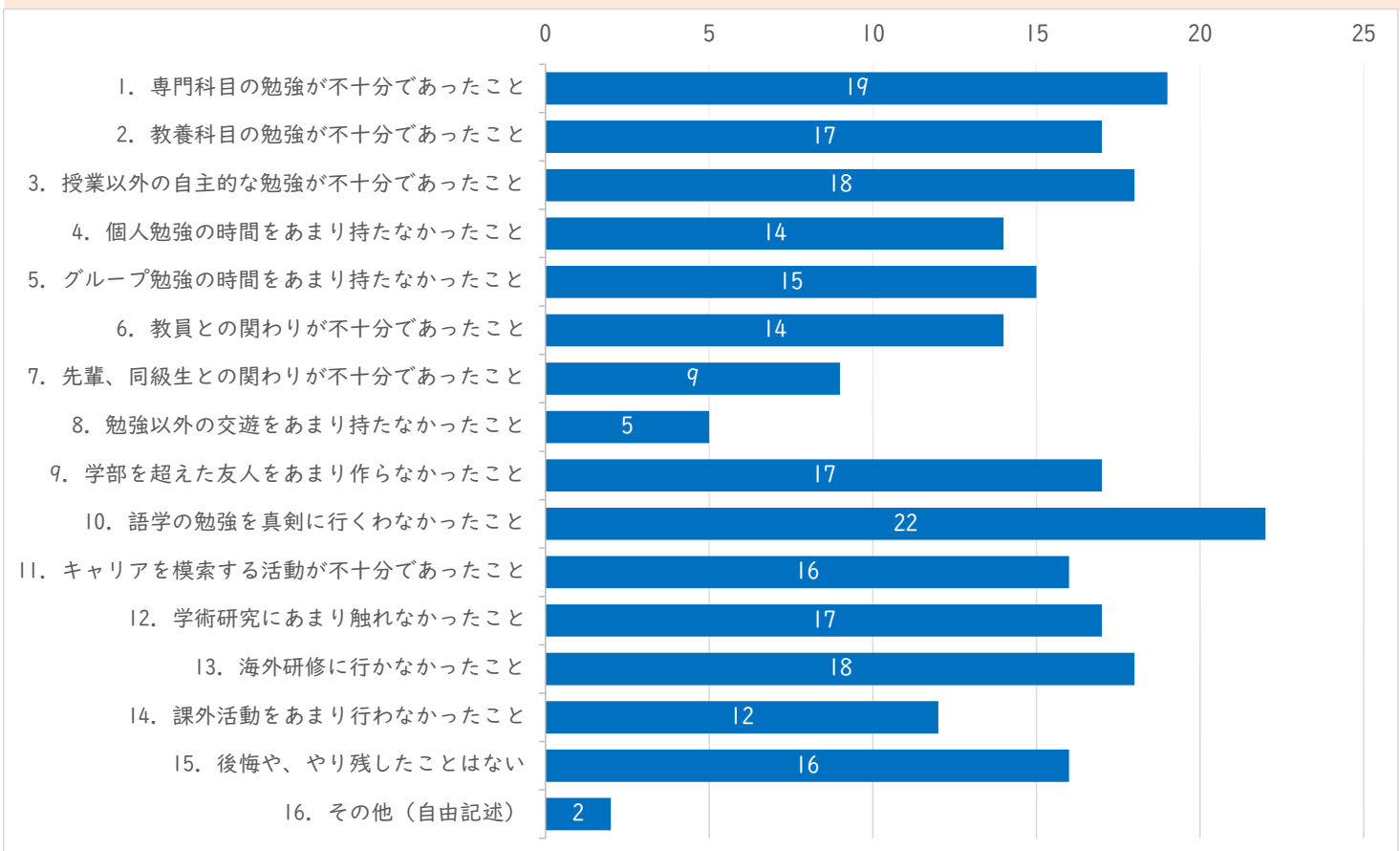
Q2-02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。(複数選択可)

※学部別



Q2-03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。(複数選択可)

※共通



【2. 成長の実感に関する設問】

(続き)

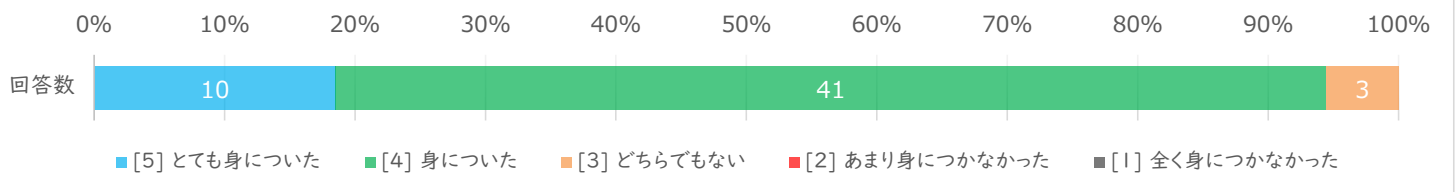
Q2-04. 以下は、医学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。

※学部別

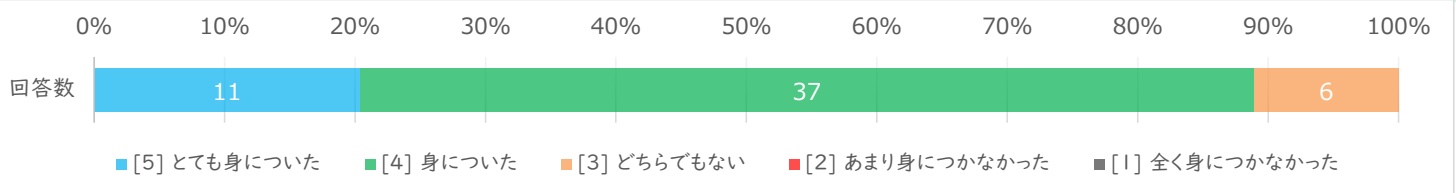
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

<共通>

① 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術・技能が身に付いている。

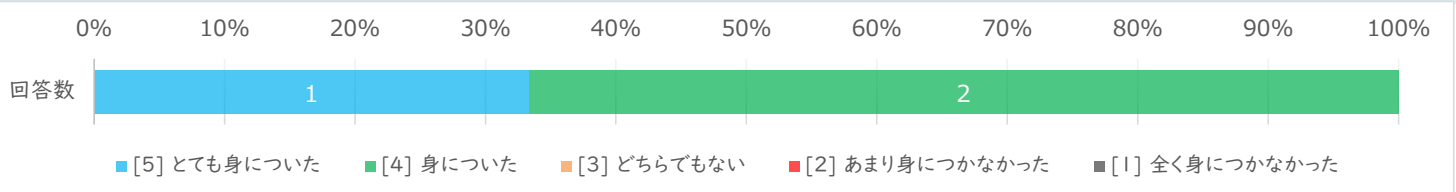


② 常に進歩する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する不断前進の態度・習慣が身に付いている。



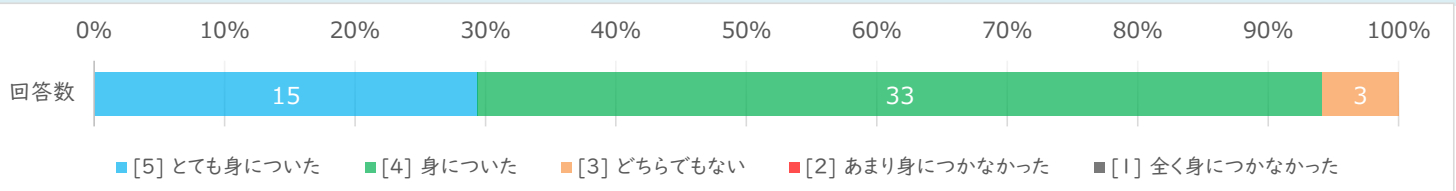
<2018年度入学者>

③ 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を慮り、慈しむ心（学是「仁」）が涵養されている。



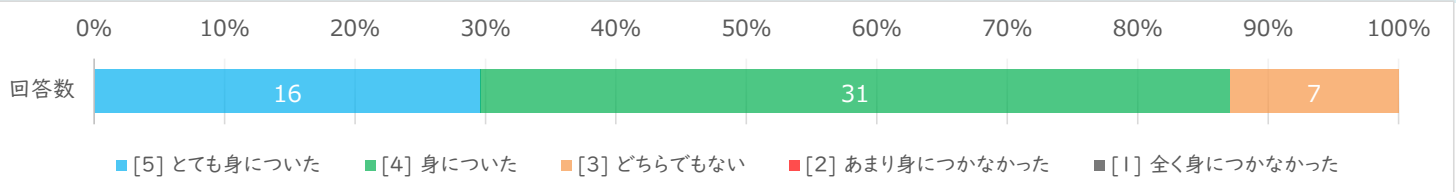
<2019年度入学者>

③ 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を思いやり、慈しむ心（学是「仁」）が涵養されている。

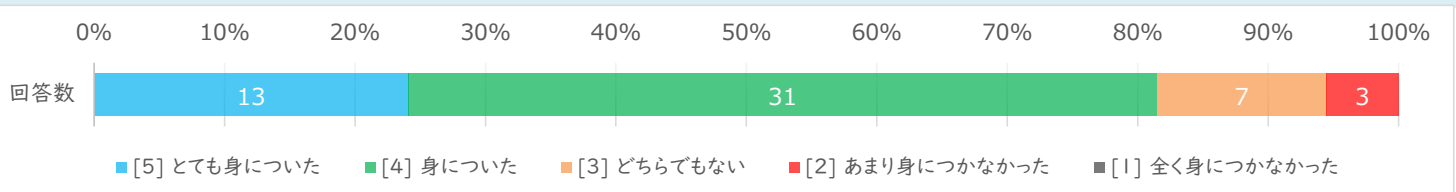


<共通>

④ チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣が身に付いている。



⑤ グローバル化する国際社会における諸問題に多面的な視点から対処し、解決できる能力と未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養が身に付いている。



End